

令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 鹿児島県 】

学校名【 南種子町立南種子中学校 】

1 実践テーマ	①・Ⅱ・③・④・Ⅴ（複数選択可）
2 実施対象者 （学年・人数）	第1学年 46人 第2学年 39人 第3学年 38人 職員18人 合計 141人
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（○） ※保健体育科，道徳科 ② 行事名（ ） ③ その他（○） ※人権同和教育一斉学習会（講演会） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 （ねらい）	(1) 学習を通して生活の中にある差別に気づき、他者とよりよく生きようとする態度を養う。 (2) 人権同和教育を正しく理解する。 (3) 学習を通して自分や自分たちの生活を振り返り、仲間づくりを推進する。
5 取組内容	<p>パラリンピックを主とした授業展開を保健体育科や道徳科で行い、学校全体で取り組む。</p> <p>(1) 保健体育科で、体育理論の「文化としてのスポーツの意義」について、全校生徒対象に授業を行う。</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;">     </div>

- (2) 各学級で「I'm possible」や動画を使い道徳科の授業を行う。
- ① 1, 2年生
「I'm possible」の香西選手の資料を基に授業
 - ② 3年生
「千葉情熱アスリート パラ陸上 村上清加選手」の動画を基に授業
- (3) 人権同和教育一斉学習会でパラ陸上の村上清加選手を招いて講演を実施する。



6 主な成果

- ・ 生徒の感想には、事実と向き合い挑戦することの素晴らしさ、諦めずに努力することの大切さ、パラリンピックに対する興味・関心の高揚、そして、偏見・差別を許さない等の内容が多く見られた。また、自分の進路と照らし合わせ、より具体的な進路設計を立てることができた生徒もいて、様々な観点から生徒一人一人が考える貴重な時間となった。

7 実践において工夫した点 (事業の特色)	<ul style="list-style-type: none"> • 体育理論の「文化としてのスポーツの意義」の一斉授業を行った。その際、ICTを活用したり、対話的活動を取り入れたり工夫した。 • 各学級で講演の事前学習（道徳科の授業）を取り入れた。
8 主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> • この事業に取り組むことで、保健体育科の授業から人権同和教育にスムーズに結び付けることができた。保健体育科だけではなく、道徳科から、人権同和教育からと多方面からつなげていくととても効果的であるので、その工夫が課題である。
9 来年度以降の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> • 保健体育科や道徳科、学級活動の授業等で取り入れていく予定である。